

令和8年4月17日

山陽小野田市議会

議長 高松 秀樹 様

山陽小野田市小野田 3929 C-202

樋口 晋也

白井健一郎議員の器物損壊事件の解明を求める陳情書

器物損壊事件という山陽小野田市議会始まって以来の事件が起きました。

時は令和8年3月13日の委員会休憩中のことでした。山陽小野田市議会「会派羅針盤」の代表である白井健一郎議員は、会派室の壁を蹴破り縦30センチ横10センチの穴を開けました。(写真参照)

これについて全員協議会において白井議員本人がその事実を認め謝罪を行いました。(下のQRコード参照)

そのやり取りの中で、「事務局の一部の職員とのトラブル」によって事件を起こしたとのことでしたが、その真相についての質疑に対して「事実を確定させるのは、議会であり、市役所であり、捜査機関が行うものであると認識している」旨の答弁で質問を事実上拒否しました。

しかし本人が謝罪したからとこのまま終えて良いのでしょうか？いったい真実はどこにあるのでしょうか。総務部によれば、「費用の弁証と正式な謝罪を受けたことにより、刑事告発は考えていない」とのことでしたので、捜査機関は動きません。

議会内で二度とこのような醜態を晒すような事件を起こさないためには、この事件の全容を解明し議会として再発防止に取り組むことが必要ではないでしょうか。

しかし「事務局とのトラブル」とは为什么呢。市民の代表者である市議会議員が器物損壊事件を起こすとは、常識では考えられないほどのトラブルがあったとしか考えられません。

白井議員のためにも事務局のためにも真実を明らかにしなければなりません。

そして真実を解明できるのは白井議員も述べているように議会しかありません。市議会の良識をもって真実を明らかにされますよう陳情いたします。



全員協議会での謝罪と質疑の映像

